

令和6年度第3回薬学実務実習ガイドライン改訂WG会議議事録（確定）

日 時 : 令和6年9月12日（木）10:00~12:15
形 式 : Web会議（Zoom）
場 所 : 日本薬学会会長井記念館 薬学教育協議会事務局（ホスト会場）
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. 報告事項

会議の開催に先立ち、鈴木委員長より「実務実習に対する基本的な考え方（施設要件等）案」については、関連する団体宛に修正案の確認をいただいていることの報告があった。

2. 実務実習の追加実習について（資料1~資料2-2）

資料1により、令和5年度3月の6年制学科卒業生の多様な就職動向について説明があった。

また、昨年度、全国の大学に向けて行なったアンケート調査の集計結果（資料2-2）から、実務実習終了後に引き続き行なわれている医療現場での実習について、特徴がある大学の実習例等が紹介された。また、集計結果から、実務実習において不足していると回答があった内容について説明が行なわれた。

続いて、追加の実習について、各委員全員から意見が述べられた。主な点は以下のとおりである。

・選択か必須かについて、・現在の22週の実務実習との関係、・現在の22週の実務実習の内容や実情について、・追加の実習の内容について、・指導者をどうするか、・卒業研究との関係、・実習施設の確保についてなど。

関連して、卒業研究の現状について、委員からの発言・説明が行なわれた。さらに、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の委員からは、追加の実習で可能な実習内容と受入れ可能な施設について意見が述べられた。

3 その他

今後について

本日提示された意見を整理し次回の会議でさらに議論を進めることとなった。

また、追加の実習が4年後に始まることを見据え、大学へ追加の実習の具体例等を示す方向で検討を進めることが確認された。

次回の会議について

- ・10月10日（木）10:00~12:00 Zoomで予定
- ・今後のWG会議開催予定日で、対面会議の実施が可能な日があれば検討することとなった。

別記 1

第 3 回薬学実務実習ガイドライン改訂 WG (9 月 12 日開催)

構成委員		氏名(敬称略)	所属	出欠
連絡会議メンバー		石井 伊都子	千葉大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
		太田 茂	和歌山県立医科大学 薬学部長	Web
		鈴木 匡	名古屋市立大学 特任教授	Web
		本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会 代表理事	Web
		小黒 佳代子	公益社団法人日本薬剤師会 理事	Web
協力者		大津 史子	名城大学薬学部 教授	Web
		角山 香織	大阪医科薬科大学薬学部 専門教授	Web
		小佐野 博史	帝京大学 名誉教授	欠
		富岡 佳久	東北大学大学院薬学研究科・薬学部 教授	Web
		永田 泰造	桜台薬局	Web
		平田 收正	一般社団法人薬学教育協議会 業務執行理事	Web
		真野 泰成	東京理科大学薬学部 教授	欠
地区調整機構	関東	中村 智徳	慶應義塾大学薬学部 教授	Web
	東海	八重 徹司	鈴鹿医療科学大学薬学部 教授	Web
	近畿	橋 詰 勉	京都薬科大学 教授	Web
オブザーバー		文部科学省高等教育局医学教育課		Web
		厚生労働省医薬局総務課		Web

別記2 第3回 実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ会議 (2024.9.12)

<配付資料>

資料1 薬科大学6年制学科卒業生就職動向 (令和5年3月)

資料2-1 薬学実務実習の現状確認と更なる充実改善に向けたアンケート (〇〇大学)

資料2-2 薬学実務実習の現状確認と更なる充実改善に向けたアンケート (〇〇大学) 集計結果